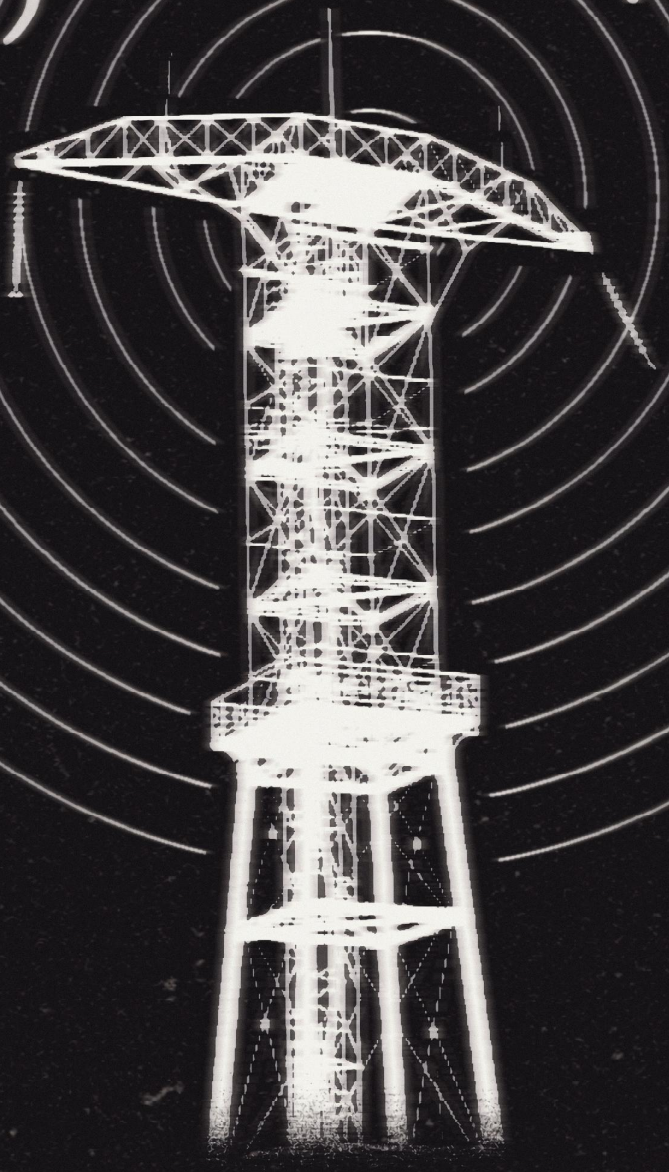
それぞれの
いちばん長い日

劇団アンゴラ・ステーキ



2026.12.7(月)

大阪府庁本館5階「正庁の間」にて

府庁本館活用事業（ひょうたんから独楽劇場）

府庁本館活用事業 ひょうたんから独楽劇場

劇団アンゴラ・ステーキ〈演劇✖テルミン プログラム〉

それぞれのいちばん長い日

作・演出　中村圭吾

熊谷帆夏　佐藤大夢　波佐間凜

1925年、東京を凌駕する大都市・大阪は、未来の通信技術、ラジオの導入を目前に控えていた。
記念すべき初放送の現場に足を運んだ新聞記者の柴田は、放送直前にアナウンサーの転落死を目撃する。
急遽代役に任命され、ペンと手帳をマイクに持ち替えた彼女の人生は、
大阪の公共放送へとチューニングされていく…
竣工100周年を迎えた大阪府庁「正庁の間」で、100年分の電波を受信するラジオ・コメディ。

劇団アンゴラ・ステーキが京都学生演劇祭2024にて音響賞を受賞した〈演劇✖テルミン プログラム〉。
その新作を、今年竣工100周年を迎えた登録有形文化財、大阪府庁「正庁の間」にて上演いたします。
歴史あるモダニズム建築にテルミンと音響・映像を掛け合わせ、
関西演劇シーンで活躍する若手劇団が、ここでしか生まれない演劇を創り上げます。

《テルミン … 手を触れずに演奏する電子楽器。2本のアンテナに近づけた両手の位置で音の高さと音量を操る。》

日時　2026.12.7(月) 12:15～13:00

入場無料
※11:45開場

※先着順で受付しますので、
定員に達した時点で
申込みを締め切ります。

▶予約サイト

◉公演に関する問い合わせ
劇団アンゴラ・ステーキ（angorasuteki@gmail.com）

◉その他問い合わせ
大阪府 府民文化部 文化・スポーツ室 文化課(☎06-6210-9323)

会場　大阪府庁本館5階「正庁の間」



［大阪市中央区大手前2-1-22］
◉Osaka Metro（旧大阪市営地下鉄）谷町線・京阪「天満橋駅」
3番出口から約500メートル
◉Osaka Metro（旧大阪市営地下鉄）谷町線・中央線「谷町四丁目駅」
1A番出口から約370メートル
◉本館正面玄関前にシティバス（旧大阪市営バス）の大阪城大手前
停留所があります。

劇団アンゴラ・ステーキ

2021年、中村圭吾によって設立。コロナ禍による二度の延期を経て、2022年5月に『ギ・アンゴラステーキ』で旗揚げ。現在は兵庫・大阪・京都など関西圏で活動中。
モットーは「ナンセンス、ノーウェイヴ」。「物語の整合性や安易な感動に回収されない演劇」の可能性を具現化すべく、論理を突き放した不条理な会話と過剰な身体性を武器に、現代社会の底流にある不安と滑稽さを照射する。



企画・製作：劇団アンゴラ・ステーキ